

## 一般質問・質疑の概要

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
1	質問 (一問一答)	2 北村 大助	<p><b>1 野々市市営墓地公園整備計画について</b></p> <p>(1) 「中林地区」に平成33年度末までに市営墓地公園を整備する工程に変更がないか確認も含めて、平成31年度は本計画をどこまで進めるのか所見を伺う。合わせて、平成33年度末までのタイムスケジュールを伺う。</p> <p>(2) 「中林地区」の具体的な整備方針を伺う。また、概算事業規模はどの程度見込んでいるのか、概算事業費と合わせて事業財源・整備手法・管理運営手法を伺う。</p> <p>(3) ゾーンニングの設定において、「中林地区」の具体的な特徴を伺う。基本計画内の文面では不明瞭で市民にとってイメージしにくい。昨年7月に墓地検討委員会で先進自治体の墓地視察を行った結果の所感も併せて伺う。 実施計画策定にあたり、市民ニーズ調査も重要ではあるが、まずは、市長の思いを伺う。</p> <p><b>2 中学校運動部の在り方について</b></p> <p>(1) 平成30年度にモデル事業として中学校運動部に対し、部活動指導員を各校1名配置したが、教育委員会が期待する効果があったのか、所見を伺う。 合わせて平成31年度の取り組み予定を伺う。</p> <p>(2) 平成30年3月にスポーツ庁は「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を出しているが、当教育委員会はどのように捉えて、実務に活かしているのか、また将来的な運動部活動の在り方の方向性をどのように考えているか伺う。</p>
2	質問 (一問一答)	4 安原 透	<p><b>1 地域中心交流拠点施設「にぎわいの里のいち カミーノ」のにぎわい創出について、本市の見解を伺う</b></p> <p>(1) 中央公民館をはじめとする本市公民館全体の運用について、カミーノを例に、シェアオフィスやシェアキッチンの事業者の公民館使用の運用について本市の見解を伺う。</p> <p>(2) 商業施設「1の1 NONOICHI」のシェアオフィスやシェアキッチンについて、オープン最初から、上手くスタートアップすることが、重要になってくるかと思われる。今現在の申し込み状況を含め、どのような運用になるのか詳細を伺う。</p> <p>(3) 「にぎわいの里のいちカミーノ」をはじめ旧北国街道のにぎわいを創出するために、「地域おこし協力隊」を募集し、にぎわいを創出することについて本市の見解を伺う。</p> <p><b>2 本市老人会の現状と課題についてを伺う</b></p> <p>(1) 本市老人会について、今現在どのような状況であるか。また、課題に対し市として今後どういった取り組みをされていくか、何か有効な対策があったかも含め本市の見解を伺う。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
3	質問 (総括)	5 宮前 一夫	<p><b>1 野々市市内の小学校全校に通級指導教室の設置を</b></p> <p>(1) 野々市市において、現在富陽小学校に2教室・野々市小学校に1教室、菅原小学校に1教室合わせて約100名の児童が通級指導教室を利用している。 児童の指導の充実のためにも、未設置の御園小学校・館野小学校の実情に合わせ通級指導教室の設置を図れ。 保護者からの要望・指導する教諭の要望はもとより、児童の成長に寄与するのではないかと問う。</p> <p><b>2 野々市市内の中学校に通級指導教室の設置を</b></p> <p>(1) 小学生だけでも、5校あわせて約100名の通級指導教室へ通う児童がいる。数値的な推論をするわけではないが、中学生においても必要とされているのではないかと問う。 より細やかな指導と生徒の成長のためにも、保護者の意向を把握し、中学校における通級指導教室の設置についての考えを問う。 要望がないから設置しないではなく、本当に必要とする子どもの声、保護者の声を吸い上げ設置に向け行動する必要があるのではないかと問う。</p>
4	質問 (一問一答)	10 辻 信行	<p><b>1 堀内上林線拡張工事について</b></p> <p>(1) 堀内上林線拡張工事の早期完成を目指すべきではないか、今後の計画を問う。</p> <p><b>2 第一次総合計画の第七次実施計画重点政策について</b></p> <p>(1) 第七次実施計画 政策①一人ひとりが担い手のまち 政策④環境について考える人が住むまち この2つの政策が第六次からの継続となった経緯を問う。</p> <p><b>3 高齢者の社会参加について</b></p> <p>(1) 本市の年齢3区分別人口で、老年人口が着実に増加しているが、本市での高齢者の社会参加を促す取り組みについて問う。</p> <p><b>4 石川中央都市圏について</b></p> <p>(1) 昨年度は4月に小児科金沢広域救急センターが開設されましたが、今年度は具体的なものがあるのかを問う。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）	
5	質問 (一問一答)	15 岩見 博	<p><b>1 三日市オートバックス前からカーマ側へと抜ける国道8号線下を通るアンダーパス道路の拡幅について</b></p>	
			(1)	<p>私がおこなっている市民アンケートにこの道路の拡幅を求める声が多く寄せられている。これまでのいきさつはいろいろあると思うが、毎日車でここを通る市民・利用者は、交互通行の不便な現状をなんとか早く解消してほしいと強く願っている。市長にはそうした声があるという認識はあるか伺う。</p>
			(2)	<p>不便解消を求める声は今後も強くなる一方だと思います。それだけにいつまでもこの問題の解決の先送りは許されない。市長は不便解消に向けて積極的に動く考えはありませんか。</p>
			<p><b>2 押野公民館の移転新築について</b></p>	
			(1)	<p>私がおこなっている市民アンケートに「押野公民館を利用する場合、他の公民館に比べて専用駐車場がなく、行事等に参加するのに都合が悪い」との声が寄せられている。築35年になる公民館の現況は、一つには、駐車場は館野小学校の教員用駐車場を間借りしていることから、アンケートと同様の声は以前からあり、市長にも届いているはず。しかし、自前の駐車場を確保するにもすでに公民館の周りは新しい住宅が建ち並び、もはや不可能である。二つには、バリアフリーであるべき施設としてどうなのか。車イスの方も勾配のある学校の駐車場から歩道に出て、公民館の車イスがやっと通れるような狭い勾配を登らなければなりません。館内に入っても2階には上がることはできません。今の時代、とてもこれはバリアフリーと言えるものではありません。三つには、富奥公民館のような大規模災害時に使えるトイレを備えた建物にすることが必要になっているのではないかと。市長、教育長にこうした問題の認識があるか伺う。</p>
			(2)	<p>これらの問題は大規模改造では解決できないと考えるがどうか。</p>
			(3)	<p>押野地区の公民館活動を支えるということからも移転新築が必要であり、移転新築にむけて検討をはじめると時期に来ているのではないかと。同時に、移転先となる用地については、市長もご存知のように、極めて限られた条件の中での用地探しになることから、用地確保を急ぐ必要があるのではないかと。また、移転後の建物利用については、たちの放課後児童クラブに入ってもらうのが有効な利用方法と考えるが、そうした検討も必要ではないかと。</p>
			<p><b>3 小中学校給食の無料化について</b></p>	
			(1)	<p>市民アンケートに、30代女性から、「中学生、小学生、1歳児の3人の子育てで、保育料、医療費、給食代とかかり、共働きが厳しい」との声。40代女性から「子供の成長につれ、生活費や食費が上がる。子ども3人で生活がギリギリ」との声。同じような声が多く寄せられている。これで消費税を増税したり給食費を上げるなどは子育て支援に逆行する。まだ小さな動きかもしれないが、学校給食無料化を実施する自治体が確実に広がっている。この動きについてどのように受け止めているか。</p>
			(2)	<p>学童保育づくり、中学校給食実現を求める運動、子ども医療費助成の実現・拡大を求める運動等々、いずれも小さな市民運動から始まって大きくなった。市民の声が政治を動かす時代である。市長、教育長は、市民の声に寄り添って、給食を無料化する考えはないか。</p>
			<p><b>4 子供のインフルエンザワクチン接種費用の補助拡大について</b></p>	
			(1)	<p>子供は保育園や学校の集団生活の中でインフルエンザに感染しやすい環境にいる。中学生や高校生にとっては受験シーズンとも重なり、心配も絶えない。子供2人の家族4人でワクチン接種料が13,000円、14,000円かかる。ばかにならない。「せめて子供だけでも補助してもらえないか」という声が多く寄せられている。高齢者からも、「高齢者は補助があるが子供にも補助を」と声が多く寄せられている。せめて65歳以上の高齢者並みの負担で済むよう補助を拡大する考えはないか。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
			<p><b>5 国民健康保険税について</b></p> <p>(1) 野々市市の国民健康保険税は、中小企業で働く労働者が入っている協会けんぽの保険料と比べても異常に高く、それも家族が多いほど比率が高くなるという認識はあるか伺う。 市のモデルケースの試算比較ではどうか。</p> <p>(2) 国保税が異常に高い主要な要因はどこにあると思うか。</p> <p>(3) 負担の公平だとか、受益者負担だとか、理解を得られないとかというレベルを超えた負担を市民はしている。また、国保だけに残されている古代の悪名高い人頭税ともいえる均等割の減額免除に踏み出すことを求める。財源として一般会計からの繰り入れを行うことを求める。</p>
6	質問 (一問一答)	14 大東 和美	<p><b>1 介護者にやさしいまちづくり</b></p> <p>(1) 障がい者用の駐車場の確保や男女共用トイレの設置など、石川中央都市圏や加賀5市など広域でバリアフリー化に取り組んでほしいとの市民からの声が上がっている。本市で来年度から取り組む商業施設のバリアフリー化を支援する補助制度の内容について伺う。</p> <p><b>2 町内会活性化に向けた取り組みについて</b></p> <p>(1) 町内会のバトンタッチを若い人につなげるために悩む町内会に、うまくいっている町内会の活動状況や、市民協働のまちづくりにおける町内会の積極的継続を推進するための本市の現状と今後の対策について伺う。</p> <p><b>3 新感覚スポーツの体験場所の提供について</b></p> <p>(1) スラックラインのようなニュースポーツに興味を示す中高校生など若い人が増えている。これから計画する中央公園横のスポーツゾーンでは、こうした若者が遊べるスペースを設ける考えはないか。本市で現在提供できる場所があるのか。また、今後の計画について伺う。</p> <p><b>4 超高齢化社会における交通手段について、本市の現状と今後の対策を伺う</b></p> <p>(1) 椿荘の福祉バスの送迎状況の現状はどうか。介護タクシー利用を要望する市民の声もあるが、超高齢化社会に向けての高齢者を支援する今後の施策をどのように考えるか伺う。</p> <p><b>5 災害対策 地区防災計画について</b></p> <p>(1) 今後、各地域で地区防災計画の策定が進むことが市全体の災害対応力の向上に繋がるとも考えますが、これに関する認識、また、地区防災計画を普及させるための啓発方法について伺う。</p> <p>(2) 現在、地区防災計画を定めているところでは、具体的にどのような取り組みがなされているのか伺う。</p> <p>(3) 地域の実状に合わせた防災対策について、地区防災計画の認定の方向性も含め、見解を伺う。</p> <p>(4) 防災士の年代別取得状況と次世代に向けた防災リーダーの育成に向けた取り組みについて伺う。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
7	質問 (一問一答)	9 金村 哲夫	<p><b>1 まちづくりの方向性について</b></p> <p>(1) 野々市中央地区で行われている取り組みのキーワードは「生涯学習」「文化振興」「歴史文化」と考えるが、今後「市民協働」や「賑わい創出」に、どのような線で繋がれようとしているのか、また、この取り組みによってどのような方向に本市を導かれようとしているのかを問う。</p> <p>(2) 野々市中央地区の取り組みが一段落すれば、次は市内全域に向けて、この取り組みを広げていくべきと考えるが、次はハード事業中心の取り組みから、ソフト的な取り組みへとなるものと思いますが、次の方向性についてどのように考えているのかを問う。</p> <p>(3) 末松廃寺跡の再整備には、広域的な視点で有効な活用方法を検討いただきたいと思っておりますが、本市の歴史や文化遺産について、現状で、広域的な活動や検討がなされているのかを問う。</p> <p><b>2 成人式について</b></p> <p>(1) 本市では、3年後に「成人」を迎える今の同世代は、成人式の開催時期についてどのように考えているのか、また、調査をするのかを問う。</p> <p>(2) 満20歳、19歳、18歳の3学年が対象になる成人式を同時に開催する予定があるのかを問う。</p> <p>(3) 本来、一人前の大人としての決意をすべき場である成人式が、同窓会的な意味合いで捉えられるようになってきており、また、若者のモラル低下を露見される場となっているようにも思われ、成人式を取りやめるという考えもあるのかを問う。</p> <p><b>3 水道事業について</b></p> <p>(1) 水道事業は民営化にそぐわないと考えますが、市民生活に直結するこの問題についての考えを問う。</p> <p>(2) 水道事業の広域化について、連携中枢都市圏の中で水道事業においても協定を結び、連携されていると思いますが、どのようなことをされているのかを問う。</p> <p><b>4 国道沿線の沿道サービス施設について</b></p> <p>(1) 国道157号線の沿道サービス施設について、国道8号から加賀産業開発道路までは、供用開始から約30年近く経過している。沿道サービス路線に指定されているのにも関わらず、土地利用が30年前と変わらないが、今後の沿道サービスをどのように考えているのかを問う。</p>